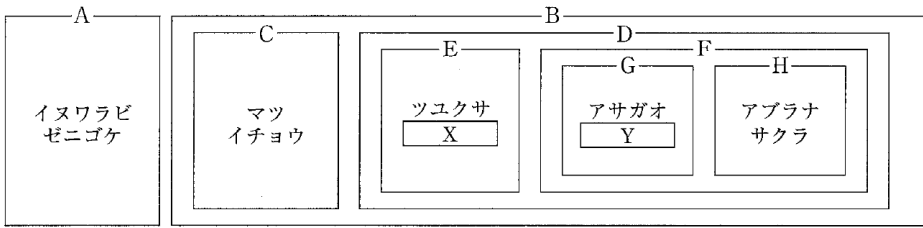


1 次の図は、10種類の植物をそれぞれの特徴をもとにして、A～Hのグループに分類したものである。これについて、あとの問いに答えなさい。



(1) Aのグループのイヌワラビとゼニゴケは、その特徴から、さらにシダ植物とコケ植物に分類することができる。次のうち、シダ植物とコケ植物を分類する基準として最も適当なものはどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

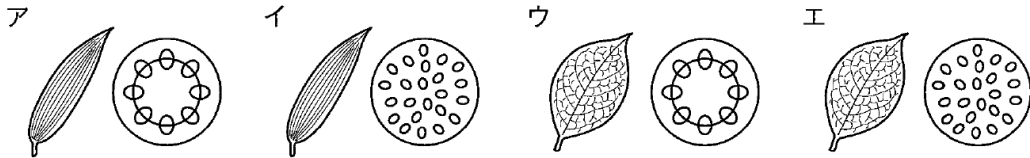
- ア 花粉をつくるか、つくらないか。
- イ 光合成を行うか、行わないか。
- ウ 葉、茎、根の区別があるか、ないか。
- エ 種子でふえるか、胞子でふえるか。

(2) 次の文は、CとDのグループの分類の基準について説明したものである。文中の①、②にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

CとDのグループは、①が子房の中にあるか、むき出しになっているかという基準で分類したものである。このとき、Cのグループを②植物という。

(3) EとFのグループは、子葉が1枚か、2枚かという基準で分類したものである。これについて次の各問いに答えなさい。

- ① Eのグループを何類というか。名称を答えなさい。
- ② Fのグループの葉脈と茎の横断面のようすを模式的に表した組み合わせとして最も適当なものはどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。



(4) GとHのグループは、花のつくりを調べたとき、花卉のもとがくっついているか、1枚1枚離れているかという基準で分類したものである。図のX、Yにあてはまる植物として最も適当なものはどれか。次からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア タンポポ イ スギ ウ エンドウ エ ゼンマイ オ ユリ

- (1) Aのシダ植物(イヌワラビ)とコケ植物(ゼニゴケ)は胞子をつくってなかまをふやす。シダ植物には葉、茎、根の区別があるがコケ植物には葉、茎、根の区別はない。
- (2) 種子植物(B)は、胚珠が子房の中にある被子植物(D)と、胚珠がむき出しになっている裸子植物(C)に分類される。
- (3) 被子植物は、子葉が1枚の単子葉類(E)と子葉が2枚の双子葉類(F)に分類される。単子葉類の葉脈は平行で、根はひげ根であり、茎の維管束が散らばっている。双子葉類の葉脈は網目状で、根は主根と側根からなり、茎の維管束は輪のように並んでいる。
- (4) 双子葉類には、花卉のもとがくっついている花(合弁花)をつけるもの(G)と、花卉が1枚1枚離れている花(離弁花)をつけるもの(H)がある。スギは裸子植物、エンドウは双子葉類で離弁花をつけ、ゼンマイはシダ植物である。

(1)	ウ	1
①	はいしゅ 胚珠	
(2)	②	はらこ 裸子 (植物)
①	たんしよく 単子葉	類
(3)	②	ウ
(4)	X	オ
	Y	ア